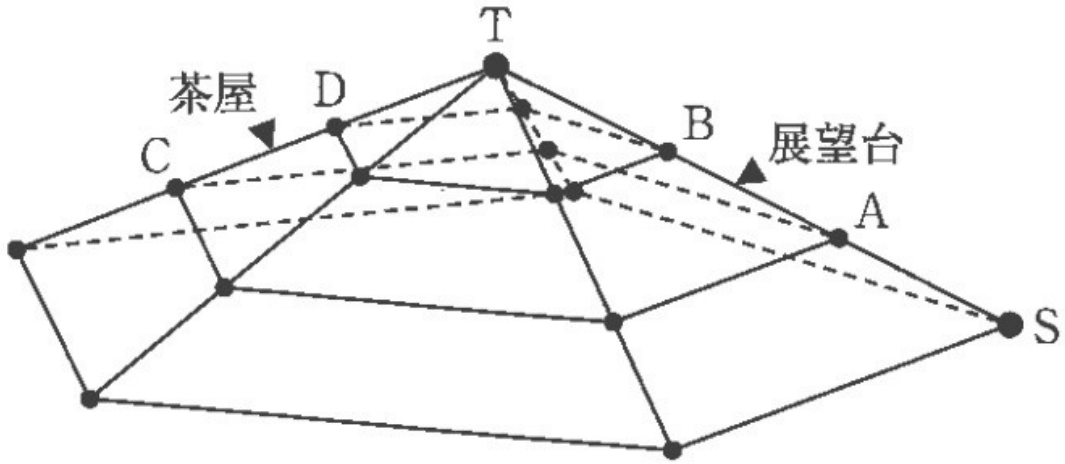
学習日：　　月　　日

2021年度　海城中学【算数】大問５

　Ｔ地点を頂点とする五角すいの形をした山があります。図のように、五角すいの辺はすべて道になっていて、山の高さの３分の１、３分の２の高さにも五角形の道があります。Ａ地点とＢ地点の間には展望台が、Ｃ地点とＤ地点の間には茶屋があります。Ｓ地点から出発していずれかの道を通ってＴ地点まで行きます。ただし、同じ地点、同じ道は通らず、上から下には進まないものとします。



〔　　〕にあてはまる数を求めなさい。ただし、同じ記号の欄には同じ数字が入ります。

（１）

ＡＢ間の展望台を必ず通ることにすると、

ＳからＡまでの行き方は〔　ア　〕通り、

ＢからＴまでの行き方は〔　イ　〕通りなので、

ＳからＴまで展望台を通って行く行き方は〔　ア　〕×〔　イ　〕通りあります。

（２）

ＣＤ間の茶屋を必ず通ることにすると、

ＳからＣまでの行き方は〔　ウ　〕通りなので、

ＤからＴまでの行き方は〔　イ　〕通りなので、

ＳからＴまで茶屋を通って行く行き方は〔　ウ　〕×〔　イ　〕通りあります。

（３）

ＳからＴまでの行き方は〔　エ　〕通りあります。